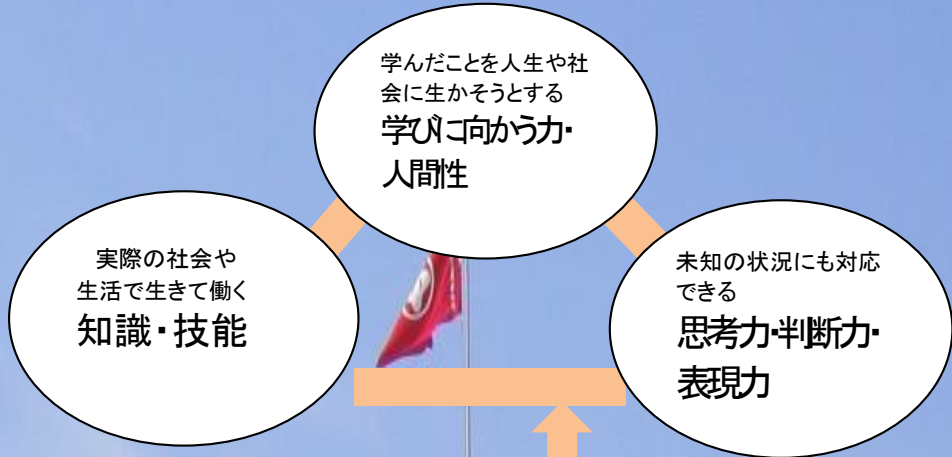


令和5年度 第一中学校 Grand Design

教育目標
目標をもち 自ら考え ねばり強く実践する生徒

目指す学校像
笑顔あふれる学校、魅力ある学校
～保護者・地域とともに歩む学校づくり～

新しい時代に必要となる資質・能力



課題の発見と解決に向けた「主体的・対話的で深い学び」のある授業を通して実現する

「新しい時代に必要となる資質・能力」を育成する工夫

ICTの有効活用

各教科

- UDLの視点を活かした授業
- 「思考力・判断力・表現力を伸ばす工夫
- 体力向上の工夫
- 自ら取り組む家庭学習の工夫

総合的な学習

- 課題解決の重視
- しばたの心継承プロジェクトの取組
- 食育の推進
- キャリア教育の推進

道徳

- 「考え、議論する道徳」の実践
- いじめを許さない態度の育成
- 「道徳科」を要に全教育活動で実践

特別活動

- 学校行事の充実
 - ・主体性を伸ばす体育祭
 - ・達成感を味わう合唱コンクール
- 主体性、協調性、社会性を伸ばす部活動
- メディア接触をコントロールする力の育成

生徒と向き合うゆとりの確保

- 業務の効率化
- 部活動の適正化
 - ・適正な休止日の設定
 - ・部活動設置数の見直し
- 学校行事の適正化

知の分野

生徒アンケートにおいて、

- 1 「授業が分かる」について肯定的な回答をする生徒を90%以上にする。(知識・技能)
- 2 「自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表する」で肯定的な回答をする生徒を80%以上にする。(思・判・表)
- 3 「課題の解決に向けて、自分で考え、主体的に取り組んでいる」で肯定的な回答をする生徒を80%以上にする。(学び・人間)

徳の分野

生徒アンケートにおいて、

- 1 「いじめはどんな理由があってもいけない」について肯定的な回答をする生徒を100%にする。(知識・技能)
- 2 「道徳の授業等で学んだことを生活に生かそうとしたか」で肯定的な回答をする生徒を95%にする。(思・判・表)
- 3 「自分は人の役に立ちたい」で肯定的な回答をする生徒を95%以上にする。(学び・人間)

体の分野

- 1 体力テストで県平均以上となる割合を75%以上とする。(知識・技能)

生徒アンケートにおいて

- 2 「健康で安全な生活のために、規則正しい生活(適切なメディア利用・十分な睡眠時間の確保)を心がけたいと思う」で肯定的な回答をする生徒を90%以上にする。(思・判・表)
- 3 平日のメディア接触時間が2時間以内(学習での利用を除く)の生徒を75%以上にする。(学び・人間)

互いの違い、良さを認め合う人権感覚の育成 人権教育、同和教育の実践